

もっと知りたい放射能 ⑫

『いわき市の放射能・放射線の状況（その3）：各地の放射線量分布と特徴』

【市内の放射線量分布と特徴】

広範ないわき市は、北部と南部で大きな違いがあります。〈図1〉は、文部科学省が実施した航空機による放射線量の測定結果から、平成23年5月、11月、平成24年6月の各時点で放射線量が0.5マイクロシーベルト/時の境界ライン（注）を示した図です。事故当初は市内中部までラインが広がっていましたが、平成23年11月には北部方向へ縮小しています。

〈表1〉に市内の主な場所の放射線レベルの変化を示します。この表から、放射線量は5月初めまでに急速に減少し、その後は徐々に低下していることがわかります。これは空気中の放射性物質がほぼなくなり、地表のヨウ素131が減衰（半減期：8日）したことによるものです。現在の放射線量は、事故後の平成23年5月時点の半分程度まで減少しています。市内で全体的に線量の高い地域は、川前町の志田名・荻地区、小川町の戸渡地区、久之浜北部と言えます。

〈図1〉放射線量の変化状況
放射線の分布と変化（0.5マイクロシーベルト/時のライン）



http://ramap.jqea.go.jp/map/ より作成

【放射線被ばく線量】

〈表2〉は平成23年11月から3カ月間、保育所・幼稚園、小中学校等の生徒を対象に実施したバッジ式線量計での外部被ばく線量の測定結果です。これによると大部分の生徒の年間被ばく線量は1ミリシーベルト以下であることがわかります。

0.23マイクロシーベルト/時程度の場所での年間外部被ばく線量はおよそ1ミリシーベルトです。従って、いわき市の大部分の地域での外部被ばくは十分に小さく、安心できる状況にあると言えます。

（注）ラインはおおよそ0.5マイクロシーベルト/時の境界。境界の内外でも局所的に線量の高い、または、低い地域がある。山林部の放射線量は高いので、居住地に限定すれば影響範囲はより狭くなる。

〈表1〉各地域の放射線量の変化（マイクロシーベルト/時）

| 支所など | 平成23年 | | | | 平成24年 | |
|------------|-------|------------|------|------|------------|------------|
| | 3/23 | 4/1 | 5/1 | 11/1 | 3/1 | 12/18 |
| 合同庁舎 | 1.70 | 0.66 | 0.27 | 0.16 | 0.16 | 0.09 |
| 勿来 | 1.44 | 0.41 | 0.15 | 0.08 | 0.08 | 0.08 |
| 小名浜 | 1.10 | 0.31 | 0.17 | 0.11 | 0.10 | 0.12 |
| 小川 | 1.45 | 0.45 | 0.19 | 0.13 | 0.12 | 0.10 |
| 三和 | 0.73 | 0.38 | 0.24 | 0.16 | 0.14 | 0.12 |
| 四倉 | 2.55 | 0.74 | 0.30 | 0.21 | 0.19 | 0.18 |
| 久之浜駅 | - | 1.05 | 0.49 | 0.32 | 0.25 | 0.15 |
| 川前町荻付近 | - | 2.6 (8/29) | | | 1.8 (3/2) | 2.1 (6/1) |
| 小川町旧戸渡分校付近 | - | 1.0 (8/18) | | | 0.7 (2/28) | 0.7 (5/24) |

出典：合同庁舎は「県内7方部環境放射能測定結果」、支所・久之浜駅は「県内各市町村環境放射能測定結果」、荻・戸渡は「福島県環境放射線モニタリング・メッシュ調査結果」（いずれも福島県HPより）

〈表2〉市内小中学生などの積算線量の測定結果（市HPより）

| 年間被ばく線量値（ミリシーベルト） | 0.16以下 | ～0.32 | ～0.48 | ～0.64 | ～0.80 | 0.80以上 |
|-------------------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|
| 人数 | 1,891 | 10,115 | 10,556 | 5,143 | 2,081 | 1,449 |
| 割合（%） | 6 | 32 | 34 | 16 | 7 | 5 |

【市放射線量低減アドバイザー 星薫雄】

2月18日(月)の市役所本庁舎、各支所・市民サービスセンターでの放射線量測定値

| 庁舎・支所 | 平(本庁) | 小名浜 | 勿来 | 常磐 | 内郷 | 四倉 | 遠野 | 小川 | 好間 | 三和 | 田人 | 川前 | 久之浜・大久 |
|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 地上1m | 0.11 | 0.10 | 0.07 | 0.09 | 0.12 | 0.20 | 0.08 | 0.11 | 0.10 | 0.11 | 0.14 | 0.12 | 0.10 |
| 地上1cm | 0.13 | 0.11 | 0.09 | 0.14 | 0.16 | 0.18 | 0.13 | 0.12 | 0.13 | 0.15 | 0.17 | 0.15 | 0.09 |

| 市民サービスセンター | 中央台 | 豊間 | 泉 |
|------------|------|------|------|
| 地上1m | 0.13 | 0.18 | 0.09 |
| 地上1cm | 0.22 | 0.26 | 0.09 |

測定時期：午前中

単位：マイクロシーベルト/時

計測機器：富士電機(株)ハンディサーベイメータ NHE2

水道水の放射性物質の測定結果

水道局では、市内全11浄水場の水道水を週4回（遠野地区の3浄水場は週1回）検査しています。現在の検査結果は、放射性ヨウ素・放射性セシウムとも、全て不検出（1ベクレル/kg未満）であり、安心して飲んでいただけます。

放射線に関する問い合わせ窓口 ☎0120-988-359 平日：8時30分～20時 土日祝：8時30分～18時